

みうらトーク&トーク 平成 24 年度第 5 回

日 時 平成 25 年 1 月 29 日(火)

15 時 50 分～16 時 50 分

参加者 三浦臨海高校生徒会 5 人

テーマ

通学路、災害対策、観光等について



<意見交換・概要>

市長 三浦市の高校に通っていて何か思うこと、気づくことはありますか。

生徒 横須賀と違って畑が多いので、雨の日に土が道路に流れ出て、滑りやすくなり危険な状態になっていることが多いです。

市長 三浦市は農業が盛んで畑が多いので、雨が降ると道路に土が流れてしまうことがよくあります。道路を作ったり、畑を整備したりしたときに、畑の土が流れ出ないように作るようにしていますが、完全に防ぐことはできなく、雨の日には流れ出てしまっています。これについては、農家の皆さんと話をする機会があるときには議題になり、話し合いをしています。

生徒 高校から三崎口駅までの間は街灯が少ないので、下校するときに暗いかなと思うときがあります。

市長 高校から駅に向かう間の坂のところは街灯が少なく、暗くなっているようです。安全面からも対応を検討させてもらいます。

市長 みなさんが普段感じている三浦と横須賀の違いについて、何かありますか。

生徒 人口の違いでしょうか。

市長 街並みにしてみても、横須賀と三浦でもかなり違いがありますよね。三浦にはあるが横須賀にはないとか、横須賀にはあるが三浦にはないということですが、たとえば、中学校の給食は、三浦はありますが横須賀にはありません。芸術劇場や文化会館といった大きな施設は横須賀にはありますが、三浦にはありません。しかし、三浦と横須賀はいつも連携しているから、あまり境目がないといったようなところですよ。ただ、産業的な構造で言うと、三浦と横須賀では違いがあります。

 いま、三浦も横須賀も人口が減っています。観光に力を入れていて観光客は増えていますが、人口が増えていきません。市のPRの仕方など、人口を増やすといったことについて、何かありますか。

生徒 子どもたちが遊べる施設を作ってほしいと思います。食べ物屋さんはかなり数がありますが、子どもたちが集まって遊べるような公園がありません。子どもたちが自然と集まれるような、例えば、テーマパークのようなところがあればと思います。

市長 テーマパークということであれば、油壺マリnparkがもっと来やすくなればいいですね。

生徒 今のマリnparkには、あまり水族館というイメージがありません。もうちょっと盛り上げる感じにした方がよいと思います。

生徒 テレビで見たのですが、他の地方で、空き家をリフォームして、若い人たちに来てもらえるように家賃を安く設定し、その代わりにその地域に住む高齢者のお手伝いをするという取り組みをしているそうです。このような取り組みは三浦市はやる考えはありますか。

市長 市で、空き家を借りて、それをまた貸すということかと思われますが、三崎の下町などにも、空き家はたくさんあります。しかしながら、あまりに老朽化が進んでいてリフォームをするにもお金がかかるなど、それに向けての課題が多いと思われますから、難しいと考えます。市が住宅を作って貸す公営住宅というものがあり、空き家をそれに使うというプランもあるかと思いますが、現段階では難しいと思います。

生徒 横須賀中央には人がたくさんいますが、三浦に来て歩いても誰ともすれ違わないので、人が少ないと思います。保育園などを作れば、若い人が増えて、子どもも増え、住む人が増えるのではないかと思います。

生徒 三浦市は自然がいいので、その自然を活かしたような観光名所を作れば人が増えるかと思っています。

市長 今回のテーマで「通学路」がありますが、これについて何かありますか。

生徒 潮風アリーナ前の交差点の信号機は、歩行者用押しボタンが壊れています。ボタンを押しても「おまちください」の表示が出なくなっています。

初声小学校入口交差点の歩行者用の信号機は、日中、表示がとても見にくい状況です。表示が青か赤かもわかりづらく、点滅も見にくくなっています。

市長 それについては、臨海高校からの要望ということで、改善するようにします。

生徒 駅から高校までの歩道で、草や木の枝が歩道の横から歩道に出ていて、歩くときけがをすることがあるので、そういった木などを切ってほしいと思います。

市長 それについては、点検しておくようにします。

市長 今回のテーマで、観光、キャラクターの活用ということも上がっていますが、いま、三浦市では、市のキャラクターということで「三浦ツナ之介」というのがいます。昨年に誕生したばかりですので、皆さんにも宣伝していただけるとありがたいです。三浦のイベントなどに登場しています。先日の成人式にも登場しました。

ツナ之介の誕生前から、「マグオくん」というキャラクターもいますので、市をPRできるキャラクターが2種類あることになっています。これからは、ツナ之介をメインにしてPRしていこうということを考えています。いま、ゆるキャラが流行しており、日本全国でいろいろやっています。それらと競合するわけではありませんが、三浦市にもゆるキャラがあった方がいいだろうということとで誕生しました。

市長 みなさんの高校生の感性で、臨海高校版の三浦市の観光ガイドを作ってくれとありがたいと思います。お金をかけなくても、ちょっと手で地図を描いたり、それにガイドのポイントを付けたりして、みなさんの手作りの観光ガイドを作ることができたりすると、学校にとってもいいし、みなさんも、三浦市にある学校に来てくれているのですから、これを通して市内を歩いたりとか、研究したりとかするきっかけになりますので、地域の勉強にもなると思います。

三浦市でのイベントは、例えば、三浦海岸駅から三崎口方面の京急の線路沿いに河津桜が植えられていますが、ここで毎年2月に桜まつりが開催されます。この河津桜は地域の皆さんが手作りで育てたもので、まつりには今は年間20万人くらいの集客があります。3月には、三浦国際市民マラソンが開催され、三浦市では一番大きなイベントになっています。

イベントで、観光客を集めることができて、住んでくれる人は減っています。通勤に不便という理由がありますが、三浦市内でも駅に近ければ、他市の駅から遠い地域と比べても不便ではないと思います。横須賀に勤務していた人が、横須賀の勤務ではなくなって、横須賀から、あるいは三浦から出て行ってしまって、両市で人口が減少してしまっています。三浦海岸駅・三崎口駅の周辺にもっと住むところを作ればいいのですが、課題があつてなかなか進まない状況です。そういったものがスムーズに進められれば、人は増えると思いま

す。

三浦の良さをぜひ知ってもらって、観光ガイドに取り組んでもらえると、ありがたいです。

生徒 三浦市には、ショッピングモールのような若い人向けのお店、若い人が行きたいと思うようなお店がないので、こういったものがあればよいと思います。

市長 ショッピングモールは人が集まる場所にできるようです。大きな集客力をもっていますが、そのために人が増えるとか、人が住んでくれるとかということとはなかなかないようです。勤めることができる場所があること、企業がそこへ事業所を作ったりしてもらうことにより人が増えることにつながります。

いま、三崎の港の近くのお店では、スーパーマーケットなどで買えるようなものではなく、骨董屋さん、特色のある飲食店などが徐々に出てきています。三崎に観光に来たお客さんがものを食べるだけで帰ってしまうのではなく、三崎のまち並みを散策できるような仕組みを作っていて、それに共感してくれた皆さんが、お店を出してくれています。そういうものを、ぜひ皆さんの自分たちの目で見てもらいたいです。そうすることによって、また新たな考え、意見が出てくると思います。

生徒 駅から高校までの間の交差点で交通事故が多発しています。

市長 その現場については、警察に相談して対応するようにしてもらいます。

職員 それでは時間となりましたので、このあたりで終了させていただきます。
本日はありがとうございました。

※ 公表については了承を得ております。